

【畜産】の【低温】対策について

<1～2月>

宮崎県総合農業試験場専門技術センター

【肉用牛】

(1) 予想される被害

- ・寒さや温度変化による子牛の疾病の増加
- ・換気不足による呼吸器病の発生
- ・育成子牛や肥育牛における増体の遅延
- ・繁殖母牛の発情不良

(2) 事前対策

- ・床面が露出しないようにおがくず等を厚めに敷く
- ・保温箱やコンパネによる風よけを設置する
- ・保温器具を設置する（コルツヒーター、赤外線ヒーターなど）
- ・子牛用のネックウォーマーやベストを使用する

(3) 事後対策

- ・気温のあがる日中は畜舎カーテンを開け、換気扇やファンをゆっくり回すなど換気を十分に行う
- ・細霧器等を使用して適度に湿度を保つ
- ・家畜の健康状態の確認を徹底する
- ・体温を維持するために必要となるエネルギーを補うよう飼料の給与量を調節する
- ・温水を給与する

【養豚・養鶏】

(1) 予想される被害

- ・寒冷ストレスによる飼料効率の低下、増体の遅延
- ・哺乳期の子豚、幼雛の斃死率の上昇

(2) 事前対策

- ・畜舎に断熱材を使用する
- ・空気の流出入に際し、外気が直接幼畜や幼雛にあたらないように考慮する
- ・幼畜、幼雛の部屋には保温器具（ヒーター等）を設置する
- ・入雛前にはかならず予備加温を実施し、敷料を暖める

(3) 事後対策

- ・気温のあがる日中に換気を行い、空気の入れ換えを行う
- ・冷たい空気は乾燥しやすいため、疾病予防のためにも適度な湿度を保つ
- ・通路などはこまめに掃除し、塵やほこりを減らす
- ・体温を維持するために必要となるエネルギーを補うよう飼料の給与量を調節する